

とちぎ高等教育推進まちづくり会議

平成27年度の取り組み状況等について

1 とかち高等教育推進まちづくり会議の会議開催経過等について

■ 会議開催

- ◇ 平成27年 5月27日 ・旧組織（十勝高等教育まちづくり会議、帯広畜産大学整備拡充促進期成会）総会
【組織の解散、組織の清算、清算に係る収支見込について決定】
- ◇ 平成27年 7月27日 ・とかち高等教育推進まちづくり会議設立総会開催
【規約（案）、役員の特任、平成27年度事業計画・予算（案）について決定】
- ◇ 平成27年10月15日 ・第1回企画・事業部会開催
部会長・副部会長の選任について、これまでの取り組み経過と今後の基本的考え方について
今後に向けた議論・検討などの進め方について ほか
- ◇ 平成28年 1月18日 ・第2回企画・事業部会開催
部会長の選任について、今後の議論の基本的な進め方について、
地域における人材育成の現状等について、先進地事例調査について ほか

■ 要望活動・視察等

- ◇ 平成27年 7月 ～ 帯広畜産大学の整備拡充に向けた要望活動
 - 7月25日 自由民主党北海道第11選挙区支部
 - 7月28日 民主党北海道第11区総支部
 - 7月29日 北海道教育庁
 - 7月30日 文部科学省（高等教育局ほか）

<要望事項について>

特別経費の交付・・・複数年にわたって取り組むプロジェクトの予算確保に向けた要望

運営費交付金の措置・・・国立大学法人が教育研究を進める上で必要な基盤的な経費の確保に向けた要望

基盤的設備の整備・教育研究施設の整備・・・教育研究活動を進める上で必要な施設及びインフラの整備に係る要望

- ◇ 平成28年 2月15日～16日 ～ 国内大学視察
 - 佐賀大学、熊本県立大学の産学官連携、COC 事業等の情報収集

2 帯広畜産大学と帯広市による主な連携事業等について

(1) 帯広畜産大学との協議

① 協議の場について

協議の場は、平成 17 年に締結した包括的連携協力協定に基づく連携協議会を活用し、同協議会の下に、全体企画調整を行う検討会議『地域発展に必要な高等教育の整備充実に係わる検討会議』を設置し、さらにその下に、テーマ毎に専門部会を設置し、具体的な協議、取り組みを進めている。

② 主な協議・打合せ等

- ・ おびひろ動物園との新たな連携
 - ◇ 平成26年度～ 新入生の学習目的に対する入園無料化を実施
- ・ フードバレーとかち人材育成事業
 - ◇ 平成27年度からビジネスコースを設置
- ・ ヒトと馬の絆による教育・研究・社会貢献事業（帯広市は馬のいるまちづくり共同事業として予算計上）
 - ◇ 平成27年10月17日 ちくだい馬フォーラム2015の共催
- ・ 若者が牽引するしごとづくり・まちづくりプラン推進事業
 - ◇ 平成27年8月12日 十勝ジנגリスカン会議2015開催
- 帯広市と帯広畜産大学との連携協議会（平成28年3月25日に開催）

(2) フードバレーとかち人材育成事業

○事業内容

- ◇ 「十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業」（文部科学省補助事業、H19～23）で培ったノウハウを活かし、チャレンジ精神等を持って企業経営、異業種参入、起業化などの企業の発展、ひいては地域の経済発展に寄与するようなリーダーシップを発揮する人材を育成する。

■平成27年度カリキュラム

①ビジネスコース

【ねらい】新事業へのチャレンジや企業活動の効率化、競争力向上に必要な基礎的・応用的知識の習得

【内容】地域産業活性化に向けた経営論・実習、企業戦略論・実習

②食品安全管理コース

【ねらい】食品衛生管理に関する知識及び実技の習得

【内容】食品有害微生物講習

③農業生産者コース（自由選択講義プログラム）

【ねらい】これからの農畜産業に必要な知識を学ぶ

④特別講習（一般公開）

【ねらい】食・農畜産業に関する最新の話題や技術を紹介するとともに、本事業における取り組みや成果を周知する

- ◇ このほか、修了生を対象に、新商品開発等の具体化を支援するため、事業化等に関する専門性を有するメンターによる事業案の作成支援や、各産業支援機関への橋渡し等のフォローアップを実施。
- ◇ また、道内4大学（北見工大、東京農大、北大、畜大）で実施している食品関連の社会人や学生向けの人材育成事業の参加者等を対象に共同セミナーを実施し、情報交換を通して人的ネットワークを形成を目指す。

(3) 馬のいるまちづくり共同事業

○事業内容

- ◇ 帯広畜産大学の知見を活かしながら、馬を活用した様々な活動を通じて教育・研究・社会貢献を充実させることで、地域に寄与するとともに、人材の育成に努め、ひいては馬の研究拠点として地域の発展につなげることを目指す取り組み。
(平成26年度より実施。ただし、障害者乗馬は民間団体に委託しながら以前より実施していたもの)

■平成27年度の主な事業

- ・ 障害者乗馬：知的障害児を中心に、馬のふれあいや、乗馬教室を実施（平成26年度延67人、平成27年度延120人参加）
- ・ 適応指導教室の乗馬体験：不登校児らを対象とした教室のカリキュラム内で乗馬体験を実施（平成26年度延20人、平成27年度延34人参加）
- ・ その他、イベントの共催（ちくだい馬フォーラム2015：502人来場）により、市民への取り組みの周知に取り組んでいる

※ 今後、大学の知見を活かした、介在・療育の取り組みが充実するよう、協議を重ねていく考え。

（4）若者が牽引するしごとづくり・まちづくりプラン推進事業

○事業内容

- ◇ 学生（ひと）が主体となって地域のしごとづくり、まちづくりに貢献するための事業を帯広畜産大学と連携して推進し、地域産業の競争力強化、中心市街地活性化等の地域振興に資するとともに、学生の地域愛を醸成して大学卒業・大学院修了後も十勝・帯広の応援団として一層活躍できる地方創生循環モデルを構築するものである。（平成27年度より実施）

■平成27年度の主な事業

- ・ 地元企業と学生との共同研究を通じた地域産業強化支援（企業の HACCP 認証取得に対する大学の支援業務の補助 など）
- ・ 中心市街地における学生活動の展開による地域活性化支援（十勝カレッジ SILO）
→ 8月12日十勝ジギスカン会議開催（約1,500名来場、出店店舗数14）

（5）その他 帯広畜産大学の主な動き（平成25年度以降）

- ◆平成25年4月1日 「獣医学教育国際認証推進室」設置
- ◆平成25年4月19日 寄附講座「バレイショ遺伝資源開発学講座」開設
- ◆平成25年9月26日 地方独立行政法人北海道立総合研究機構との連携・協力に関する協定締結
- ◆平成25年10月22日 ジャガイモの研究を目的とする温室等贈呈
- ◆平成25年12月2日 米国コーネル大学と学術交流協定を締結
- ◆平成26年2月28日 道内国立6大学との教養教育単位互換及び入学前留学生教育の実施に関する協定を締結
- ◆平成26年11月12日 米国ウィスコンシン州立大学マディソン校と学術交流協定を締結
- ◆平成27年4月 十勝カレッジ SILO(サイロ)開始
- ◆平成27年4月 グローバルアグロメディシン研究センター開設
- ◆平成27年10月23日 産業動物臨床施設竣工
- ◆平成28年4月～ 第3期中期目標・中期計画期間の開始